

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能 昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	高齢者の雇用・就業促進事業		
目的	(1) 対象	＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞中高年齢者 ＜シルバー人材センター連合会＞高齢者	
	(2) 意図	雇用就業機会の拡大と雇用の安定を図る	
事業概要	全国に先駆けて人口の高齢化が進展している本県においては、高齢者の雇用・就業対策はとりわけ重要であり高齢者の就業支援及び雇用・就業機会の拡大を図るため必要な支援を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	就職者数	目標値	105.0	110.0	115.0	120.0	人
	式・定義	中高年齢者就職相談窓口利用者の就職者数	取組目標値					
			実績値	44.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名	シルバー人材センターの会員数	目標値	5,500.0	6,000.0	6,000.0	6,000.0	人
	式・定義	シルバー人材センターの会員数	取組目標値					
			実績値	3,799.0				
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	23,014	40,813
うち一般財源 (千円)	23,014	40,813

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

従業員数31人以上の規模の県内企業において、高齢者雇用安定法第9条第1項で規定する高齢者確保措置を実施済みの企業の割合は、平成27年6月1日現在、99.8%（対前年比0.1ポイント上昇、都道府県別第6位）
 ＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
 中高年齢者就職相談窓口（愛称：ミドル・シニア仕事センター）を設置して、就職先の開拓・就労相談等を行い、中高年齢者の就業促進を図った。
 ＜シルバー人材センター連合会＞
 高齢者の就業先の開拓・就労相談等を行うスタッフを4名配置し就業先の開拓に努めた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
 平成27年度は、求人開拓目標100人に対し実績は391人、求職者への支援目標120人に対し実績は187人と、大幅に上回った。これにより、マッチングの拡大にむけての求人・求職情報が蓄積された。
 ＜シルバー人材センター連合会＞
 平成27年度のシルバー人材センター連合会会員数は、前年度と比較し92名（2.4%）増加した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 ＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
 平成27年度は、目標就職者数50人に対し、実績は44人ととどまった。
 ＜シルバー人材センター連合会＞
 シルバー人材センター連合会における会員数はほぼ横ばいの状態。
 ②困っている状況が発生している「原因」
 ＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
 ・前年度後半に窓口開設したことによる周知不足。
 ・求職者の大部分が高齢であることから、求人側から断られるケースが多かった。
 ＜シルバー人材センター連合会＞
 高齢者のシルバー人材センターについての理解・周知が十分でない。
 ③原因を解消するための「課題」
 ＜中高年齢者就職相談・職業紹介＞
 事業への理解・周知を促進するための取り組みが必要。地域における求人・求職情報を更に収集・蓄積することが必要。
 ＜シルバー人材センター連合会＞
 シルバー人材センターへの理解・周知を促進するための取り組みが必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

＜中高年齢者就職相談・職業紹介事業＞
 様々な場を活用した事業の周知・啓発に努めるとともに、企業訪問の強化等による求人情報の収集等に取り組む。
 ＜シルバー人材センター連合会＞
 ホームページ等を活用するなど事業の周知・啓発を積極的に取り組む。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）